

議会だより あまぐさ

No.190

平成24年5月1日

発行：愛知県大口町議会



大口町は、4月1日に
町制50周年を迎えました



大口町制50周年

昔も現在も未来もずっと
愛があふれる みんなの大口

3月定例会

平成24年度予算はこうなる

2~5

一般会計予算案に修正動議2件

6

【一般質問】介護保険料の値上げをやめよ

19

議会改革に向け中間報告まとまる

22

議会広報全国コンクールで奨励賞

23

おもな事業

教育



南小学校建設工事 (プール、グラウンド及び附属建物の整備)	4億5064万円 【約20300円】
学校給食費の半額公費負担 (小学校分 3583万円 中学校分 2113万円)	5696万円 【約2570円】
幼稚園児等の主食代相当分助成	281万円
特別支援学校給食費の半額助成	15万円
中学校校舎木製ルーバー塗装等工事	1820万円 【約820円】

3月定例会は、2日から21日までの20日間の会期で開かれました。

町長の施政方針では、今後、国、県の施策を着実に見極め、「安全・協働・共生・公平・発展」をまちづくりの尺度として実行していくと説明がありました。

町提出議案は、平成24年度予算案をはじめ条例改正など全部で30議案、議員提出議案1件が出されました。なお、平成24年度一般会計予算案については、修正動議が2件提出されましたが、ともに否決されました。

採決の結果、税条例の一部改正、介護保険条例の一部改正、平成24年度の一般会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算は賛成多数で可決、他の議案は全会一致で可決しました。一般質問では、10人が町政全般にわたり質問をしました。

平成24年度

防災



地域防災拠点からひろがる防災まちづくり計画

(社会資本整備総合交付金対象事業 5カ年計画)

1億544万円

【内訳】

- ・ (仮称) さつきヶ丘集会場建設工事設計 240万円
- ・ 小型動力ポンプ付消防積載車購入 2142万円【約960円】
- ・ 同報無線デジタル化工事 6550万円【約2950円】
- ・ 調整池の流量、貯留量監視システム導入 562万円【約250円】
- ・ 中央公民館耐震補強工事設計 1050万円【約470円】

※【 】内の数字は、人口22,200人で算出した町民1人当たりの金額を示しています。



まちづくり

町制50周年記念事業	749万円
地域活力創造事業 (今後の住民自治を担う次世代の人材育成)	26万円
創業等支援資金融資保証料及び利子補給助成	46万円
農力増進事業化研究 (米粉を活用した農業の研究)	43万円
調整池基本設計 (替地三丁目地内)	1121万円
防犯灯増設及びLED化 (LED灯10基新設など)	47万円
町道大口桃花台線車道歩道高低差解消工事	4710万円

前年度比 21% 減

町税は2億2千万円減を見込む

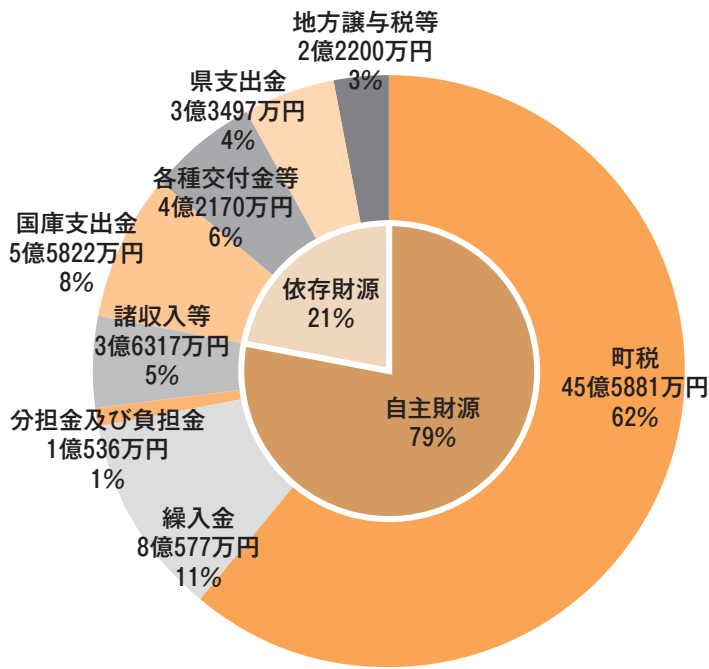


図1 一般会計歳入（項目別）

■ここがポイント！

繰入金のうち、3億5500万円を財政調整基金より繰り入れています。また、地方譲与税等に含まれる町債(町の借金)は前年の10億円から1億円に減っています。こうしたことから、自主財源が79%と前年度より11%増加しています。

町長施政方針概要

東日本大震災によって、人の心、人とのつながりや、当たり前のことを迅速に決断し、行動することを強く感じました。町長就任後3回目となる24年度予算編成にあたり、私は行財政運営に責任を持ち、住民福祉の向上のため、「第6次総合計画」の指針をもとに、一般会計73億、特別会計42億の総額115億円あまりの予算を上程しました。

これまで培ってきた10年来の「協働の精神」の取り組みからは、物やお金の損得ではない、地域の一員として暮らすことが豊かな暮らしだとする価値観の拡がりを感じています。

今年、町制施行50周年を迎えます。協働のまちづくりを次世代へ引き継ぐ年として位置づけ、情報を共有し皆さんと話し合い、先送りすることなく実行していきたいと考えています。

歳入

73億7千万円のうち、町が自主的に調達できる「自主財源」は79%で、自主財源比率が高く、健全な状態となっています(図1)。

【町税の状況】

町税の割合は、全体の62%で町収入の柱となっています。

町税全体では、約2億2400万円減少していますが、デフレや円高、不安定な金融情勢などを

■自主財源	町が自主的に調達できるお金
■依存財源	国や県から交付されるお金
■繰入金	基金や他の会計から入ってくるお金
■国庫支出金	特定事業財源として、国から交付されるお金

表1 町税予算額の比較

税目	23年度	24年度
個人町民税	11億3700万円	11億4850万円
法人町民税	7億円	6億4550万円
固定資産税	27億4834万円	25億4833万円
その他	1億9745万円	2億1648万円
合計	47億8279万円	45億5881万円

見込んだものです(表1)。また、固定資産税は、平成24年度が評価替えの年であることや、償却資産の落ち込みから減額となっています。

【町の財政基盤】

町税の増減は、法人町民税の増減に比例し、景気の影響が大きいことを示す一方、固定資産税は、全体の約半分を占め、安定した推移で町の財政基盤を支えています。

平成24年度一般会計予算

73億7千万円を可決

教育費は56%減、民生費がトップに

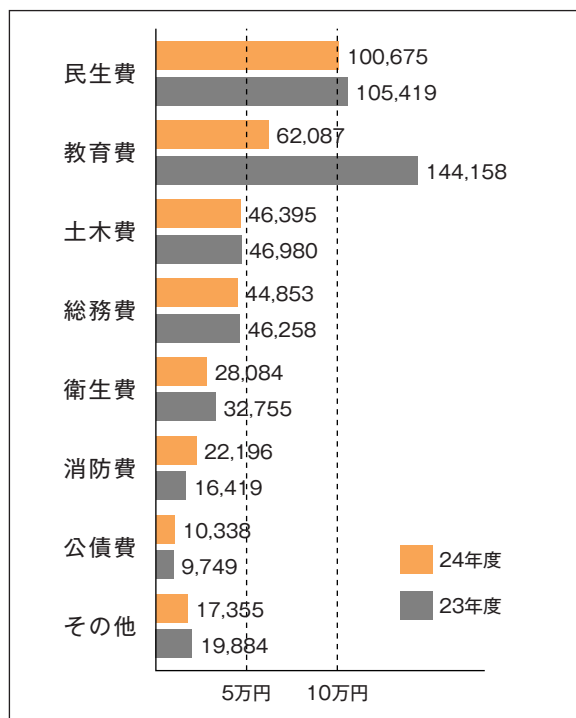


図3 町民1人当たりに使われるお金

※人口を22,200人で算出

■民生費 高齢者、障がい者、保育園などに使われるお金

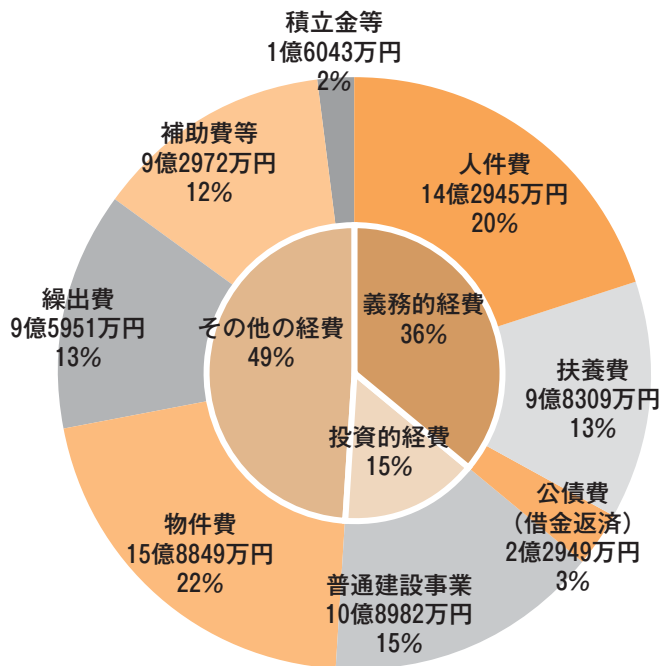


図2 一般会計歳出 (性質別)

- 扶助費 法令に基づき被扶助者に支出される経費 (福祉手当、子ども手当など)
- 物件費 賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費
- 補助費等 各種団体への補助金や交付金など
- 繰出金 基金や他の会計に出すお金

特別会計予算

(▲は減額を表す)

会計名	24年度	前年比
国民健康保険	20億6110万円	760万円
介護保険	9億7705万円	1億8055万円
公共下水道	9億4145万円	7720万円
後期高齢者医療	1億8482万円	1240万円
農業集落家庭排水	2927万円	551万円
国際交流	541万円	▲20万円
社本育英	505万円	▲29万円
土地取得	18万円	▲2万円
計	42億433万円	2億8275万円

歳出

歳出を性質別にみると、義務的経費の人員費、扶助費、公債費 (借金返済) は、36%です。この比率が低いほど、町独自の施策展開に余力があると判断されます。投資的経費の普通建設事業には、前年度の南小学校校舎、体育館の建設工事に引き続き、グラウンドとプールの整備が含まれています。(図2)

また、平成24年度から5年間で取り組む「防災まちづくり計画」が始まるため、前年度より消防費が増加しています。全体としては、南小学校の建設事業が一部終了したことで、教育費が減額となる一方、民生費の割合が最も多くなっています。(図3)

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会でのおもな質疑を掲載します。

自転車等の放置の防止に関する条例を制定

問 なぜ今、制定するか。

また、条例の中に、「町民」とあるが、昼間に大口町に来た町外者も含まれるのか。

答 条例制定の目的は、歩道等危険なところに置かれていて危ないものに

対して、条例を制定し撤去するものである。

また、「町民」の範囲は、町外者も含むものである。

税金等のコンビ二納付スタート

問 コンビ二で税金等が納付できるようになったが、何の税目ができるのか。

また、1件あたりの手数料はいくらか。

答 納付できる税目は、町民税の普通徴収分、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、保育料及び町営住宅使用料である。

手数料は1件あたり、60円90銭である。

平成24年度一般会計予算案に2件の修正動議

◆修正動議（江幡満世志、吉田 正）

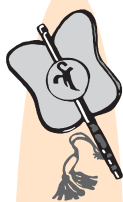
高齢者福祉費の敬老事業報償金について、満85歳への敬老金の支給がこれまでの一万円から5千円になることはこれまで続けてきた制度の成り立ちからしていかなるものかと思われる。金額をこれまでどおり1万円に戻すため、予備費を減額し敬老事業へ38万5千円を増額する修正案を提出する。



修正案に賛成 2
反対 12

◆修正動議（齊木一三、柘植 満、土田 進）

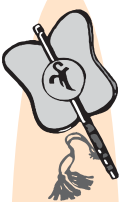
中学校の校舎木製ルーバー塗装等工事費について、今回計上された費用が、平成18年5月の特別委員会での説明のあった数字と比べ、6倍もの金額になっている。塗装工事等に反対するものではないが、このまま通すことは、住民の理解が得られない。工事費を少しでも削減できるように業者と検討するため、一度工事費を予備費に繰り入れる修正案を提出する。



修正案に賛成 3
反対 11

◆賛成討論（酒井廣治）

2件の修正動議があり、それぞれの修正案が提出されたが、執行部並びに議会の責務のひとつとして、行政施策の安定的な継続があると考える。敬老金については、今後対象者の増加が見込まれ、あえてその見直しに取り組んだ決断に賛同する。また、中学校の工事費についても、過去の経緯を総括し、手法等を再検討し維持管理に努めるとの説明を受けたので、その取り組みに理解を示し賛成する。



原案に賛成 9
反対 5

退職所得の個人住民税の 10%税額控除の廃止

問 いつまでに退職金をもらった人が、これに該当するのか。

答 平成24年12月31日までに退職金をもらった方は、10%税額控除の適用がある。平成25年1月1日以降に退職金をもらった方は、廃止になる。

たばこの値上げはあるか

問 たばこ税の税率引き上げで、たばこの値段があがるのか。

答 町と県の法人税の割合が変わることに対し、たばこ税で調達することとなったもので、たばこの販売価格には影響しません。

震災復興への新たな 税の負担のお知らせ

問 東日本大震災の復興財源として、個人の町県民税の均等割の引き上げがされる。住民への周知はいつするのか。

答 個人町民税の均等割がプラス500円となり、県民税も同様に引き上げられ、平成26年度から10年間実施される。時期が近づいたら広報などでPRしていく。

同報無線のデジタル 化工事

問 単にデジタル化するだけでなく、町民の安全防犯活動に役立つものであってほしい。耳の不自由な方にFAXで送信するとか、導入効果をどう考えているのか。

答 デジタル化により雑音がなくなる。屋外拡声子局は現在6か所にあるが、今後は学共へ新設していく予定である。FAXとの連携は考えていない。

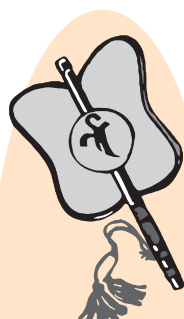


今後、学共へ設置予定の屋外拡声子局

税条例の一部改正

◆反対討論 (吉田 正)

この内容は、退職金に対する増税、町民税均等割を平成26年から35年までの10年間、500円引き上げるものである。税は、累進課税が原則とこれまで言われてきたが、どんどん破壊されている。格差と貧困が、どんどん広がっていく。低所得者ほど重い負担をしなければならぬので、賛成できない。



反対 2
賛成 12

◆賛成討論 (酒井廣治)

本条例は、経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法等の一部改正及び東日本大震災からの復興に関し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律の制定にともなうもの。退職所得の税額控除の廃止、町たばこ税の税率の引き上げ、平成26年度からの個人町民税均等割の引き上げなど法律に基づき適正な条例改正であると判断し賛成する。

商工業振興に企業立地促進条例

を制定しては

問 扶桑町では、企業誘致をねらい固定資産税の3年間免除、町民を雇用した場合1人15万円、上限300万円出るような町企業立地促進条例を制定する動きがある。本町でも検討してはどうか。

答 超過課税を本町は実施していない、さらには都市計画税の課税もしていない(ゼロ%)のが大口町の売りだと思うので、扶桑町のような制度は、考えていない。

商工振興事業補助金

問 創業者等支援資金融資保証料と利子補給金の支援各23万円が計上されているが、利息1・8%で計算してもせいぜい1千万円か2千万円の融資

しか見込んでいないことになる。少額過ぎないか。

答 保証料の積算根拠は、融資金額1500万円、保証料率0・79%、期間7年をモデルとしている。その信用保証料の50%を補助、1件23万円の頭出しである。

一方、利子補給の積算根拠は、融資金額1500万円、金利1・8%、期間7年をモデルとし、1件23万円の頭出しである。申請件数については、動向が見えないので、予算を同一の項目で計上しているので柔軟に対応していきたい。

商工振興事業平成23年度中の実績は

問 補助金で小規模企業等振興資金融資保証料、セーフティネット資金融資保証料の実績はどうなっているのか。

答 平成24年2月末現在では、左記のとおり。

	小規模企業等振興資金融資保証料 (旧商工業振興資金融資保証料)		小規模企業等振興資金 利子補給金	
	件数	金額	件数	金額
平成24年2月現在	33	11,319,500円	29	4,069,000円
平成22年度	33	15,423,200円	27	5,215,600円

	セーフティネット資金融資保証料 (旧緊急保証制度融資保証料)		セーフティネット資金 利子補給金	
	件数	金額	件数	金額
平成24年2月現在	5	2,873,400円	4	947,000円
平成22年度	38	20,516,300円	21	3,198,200円

介護保険条例の一部改正

◆反対討論(江幡満世志議員)

第4期介護保険事業における介護給付費準備残高が1億4千万円あり、第5期介護保険事業における算定では基金取り崩し額が8千500万円だけで、差額の5千500万円は繰越基金もしくは準備金となっており、本来の介護保険法に照らしても、違法と言わざるを得ない。また、所得段階の改定においても、特に高額所得者への段階設定がなく、公平な負担を求める点で介護保険法に沿っていないので、反対する。



反対 2
賛成 12

◆賛成討論(木野春徳)

今回の条例の一部改正は、介護保険法に基づく3年に一度の市町村特別給付、介護保険料の改正によるものである。

市町村給付は、住宅改修制度の見直しと新たに在宅美容支援費を追加する一方、介護保険料の所得段階を9段階から10段階へ変更したことにより負担能力に応じた改正となっており、適正なものと判断し賛成する。

BDF (Bio Diesel Fuel:バイオディーゼル燃料)とは

主に植物油から作られた燃料で、ディーゼルエンジンを有する車両、船舶、農耕機具、発電機に使用します。



工事が予定されている町道大口桃花台線=大屋敷地内で

車道歩道高低差解消工事 街路樹はどうなる

問 町道大口桃花台線車道歩道高低差解消工事は、どのように行われるのか。また、歩道に樹木が植わっているが、撤去するのか。

答 工事は、桃花台線の大屋敷西から施工していく予定である。これまでは歩道を下げてきたが、大屋敷区域については、土地改良の用水が歩道内に入っている。そこで、車道を歩道の高さにあわせてバリアフリー化を図る形で3、4年かけて計画をしている。
また、樹木を取るのかは、現在検討している。

農力増進事業化 研究協働委託料

問 平成23年は米粉を使った商品化を研究された。①「農力増進事業」本来の目的は何か。

② 町内で採れた米、野菜、果物を使った食品の商品化等とあるが、「等」とは何か。

答 ① 休耕田や耕作放棄地が見受けられる。こうした土地を耕作し、ある程度経営ができないかねらい。
また、次世代へつなぐ担い手の発掘、仕事づくりという大きな目的を持っている。特産品や商品化がおもな目的ではない。
② 「等」とは、野菜、果物ではなく、人材の育成をいう。

廃食油の処理と活用

問 現状はどのようなになっているのか。

答 オークマ(株)と給食センターから回収し、建設農政課でBDFとして、農機具や温室などで活用している。
平成22年度実績では、オークマ(株)から3千以上の廃油量があり、需給バランスがよい状況にある。
(※BDFの説明は、最上段をご覧ください)

砂利採取監視

問 砂利採取監視嘱託員報酬、月15万円で年間180万円支出する仕事の内容は。

答 元警察官の方に、砂利採取現場での監視と指導をお願いしている。ほかに、町内の道路、水路のパトロール、道路の穴埋め、草刈りの業務もお願いしている。

平成24年度 介護保険特別会計予算

◆反対討論 (江幡満世志議員)

第5期介護保険事業計画策定により、介護保険料が上昇している。基金の1億4千万円を取り崩すことが妥当なのに、取り崩していないのは問題である。また、住宅改修に関しても、結果的に縮小しており、被保険者の公平な負担を求めるといふ点で、介護保険法に沿っていないので反対する。



◆賛成討論 (木野春徳議員)

介護保険法のサービス理念に立ち返り、町の第5期介護保険事業計画が策定されている。本予算は、その計画に基づき予算編成されている。一方、保険料収入は綿密に検討され、介護保険料に基づくものとなっている。
よって、介護保険を運営する上で必要なサービスを提供し、そのための財源を確保できる内容となっており、適正と判断し賛成する。

今後の農業振興を

どう考える

問 農業費が、平成18年度に比べると約半分になっている。今後の農業振興についてどのように考えているのか。

答 平成18年度当時、農業公園構想の中で農業に係ることすべてを農業費として計上していたが、農業公園構想の施行を見直したことによるものである。

農業振興については、23年度から「農力増進事業」として若い農業者と今後の農業についての協力を進めていくことが協議している。

全町農業公園構想

問 平成23年度から全町農業公園構想事業の項目が消えているが、構想自体なくなったのか。

答 全町農業公園構想は、それぞれの部署でできることを進めていくことに変更した。

建設農政課では、れんげまつりの景観事業、保育園での食育のお手伝い、ふれあい農園として事業を進めている。

また、農業塾（「ちゃれん塾」）として、休日開園の家庭菜園の3期生を募集し既に満杯となっている状況である。

橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費補助金（国庫補助金）

問 どういう計画を策定するのか。

答 本事業は、平成22年から15m以上の橋りょう

を調査したので、平成24年度に長寿命化の改善方法を策定するために実施するものである。

しかし、この事業には耐震が含まれていないので、県に耐震としての補助も受けられるよう進めていく。

用水路台帳の整備計画

問 用水路台帳作成委託料836万円。今まで用水路台帳はなかったのか。新たに作る目的は何か。

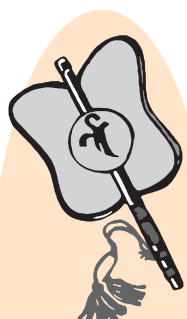
答 現在の台帳は、地図に位置図だけを落としたもので、更新されておらず、できた当初のものしかない。用水路を更新するには、相当な量があるため、その計画を含めて台帳を作成することになる。

平成24年度

後期高齢者医療特別会計予算

◆反対討論（吉田 正）

本医療制度が、広域連合の中でどのように医療費が使われているのか、今まで一切報告がない。ぜひ住民にもわかるように、説明を求めます。また、愛知県では、障害者医療の適用を受けるためには、後期高齢者医療保険に加入することが条件になっており、障害者にも保険料の負担を負わされている。所得の低い人に重い負担をさせ、高額所得者には、所得に応じた負担になっていないので反対する。



反対 2

賛成 12

◆賛成討論（木野春徳）

高齢者が健康で暮らしていくための大切な医療制度を維持するには、加入者の保険料納付が不可欠で、ある程度の引き上げもやむを得ないと考える。当予算は、愛知県後期高齢者医療広域連合が運営していくための保険料収入ならびに広域連合への負担金などの重要なものであり、適正なものと判断し賛成する。



平和橋付近で=4月6日撮影

差し押さえ関連 不動産公売鑑定委託料の 件数見込は

問 何件の差し押さえ物件を見込んでいるのか。
対象になった差し押さえの物件には、どのようなものがあるのか。

答 見込件数は1件分で、その鑑定委託料は20万円である。
これまで住宅など数件を差し押さえしている。

協働委託 五条川堤桜保存事業

問 平成23年度、1110万円であったものが増額した理由は何か。

答 NPO登録団体の「わくわく21」と愛知県の樹木医が協力して、桜の保存事業を行うために、町民を対象にセミナーなどを開催する費用として204万円余となった。

学校施設管理委託料

問 北小、南小に施設管理委託料があるのに、西小にないのはなぜか。

答 校舎面積が8000㎡以上の建物には、法律でビル管理士を置かなければならないため、その業務を一括で委託するもの。
北小は昨年度より計上している。南小は、8000㎡に達していないが、複雑な機器等があり北小

同様に依頼していく。
西小は、複雑な機器等がなく、教育委員会が管理するので、計上していない。

南小の国庫補助金

問 南小学校の建設に関する国からの補助金合計はいくらになるか。

答 約3億8618万円。

介護保険特別会計 補正予算(第4号)の 繰越明許

問 介護保険住宅改修支援事業の繰越明許費の説明を。

答 平成24年度より一般会計の高齢者福祉費の在宅生活支援費と併用するため、利便性を考え、年度をまたいだ工事にも助成できるよう行うもの。
この繰越明許により3月いっぱいまでの申請者にも適用する。

繰越明許費とは

歳出予算経費の性質上、年度内にその支出が終わらない見込みがある場合に、翌年度に繰り越して使用することができる経費をいいます。

大口ケアセンター あかり

問 3月末に開所した「大口ケアセンターあかり」への補助金はどのようになっているのか。

答 総建築費が5859万円、そのうち4750万円が補助金で賄われている。



3月29日に開所した
大口ケアセンターあかり=下小口二丁目で

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

3月定例会では
10人が質問

自主防災組織

組織の活性化の取り組みは

部長 複数年かかわる組織づくりを地域と検討していく



大島 保憲

一般質問

大島 保憲

地域協働部長 自主防
災会の
多くが、地区役員で構成
されており、毎年交代し
ているので前年の活動内
容を引き継いで実施して
いる。一部、地区に見ら
れるが、別々になってい
るところもある。複数年
かかわれるような組織づ
くりを地域と検討してい
く。

大島

自主防災会が、
有事の際に機能
できるよう、住民一人ひ
とりが重要である。活
動のマンネリ化防止など
行政として、自主防災会
を活性化していくために、
どんな取り組みを考えて
いるのか。

大島

災害が発生した
場合に、行動す
るためのマニュアルを作
成すべきではないか。

地域協働部長

3月の
防災訓
練で、自主防災会の一部
の方に図上訓練(DIG)
を体験してもらった。
今後は、体験をすべて
の自主防災会でできるよ
う進めていく。

訓練を通じて住民が各
自で何をなすべきか判断
し、自分たちの手でマニ
ュアルを作るべきと考え
ている。

大島

防災資機材の購
入は、行政区一
括交付金より一部助成さ
れているが、地域によっ
て今後内容が異なってく
ると思われるので、制度
の見直しをしようか。

地域協働部長

資機材
については、自主防災会ごと
異なっているので、今後
は国の交付金を活用しな
がら学共など地域拠点施
設で必要な資機材を整備
していく。

また、現在の町の交付
金を活用し、自主防災会
ごとに計画的に整備して
ほしい。



図上訓練(DIG)の様子=3月10日役場で

DIG(ディグ)とは

Disaster Imagination Gameの略で、地
図を用いて防災対策を検討する訓練のこと。

自動車進入防止ポールを撤去せよ

部長 安全対策上、取り外しは考えていない

宮田 町内には、歩車道分離道路がある。その意義は理解できているが、そこに設置されている自動車進入防止ポールの必要性について問う。

建設部長 ①町道の野合線、豊三線の2カ所ある。

②1本約3万4千円。

③歩道に車両が進入したり、駐車したりすることを防ぎ、歩行者の安全を確保できることである。

宮田 歩車道分離道路があるのに、自転車車で車道を通る人を見かける。また、自転車の利用者からはポールがハンドルにあたりそうで大変危険との声もあることから、ポールの撤去をしてはどうか。

①自動車進入防止ポールが設置してある歩道は町内に何カ所あるか。

②ポールの値段はいくらか。

③ポール設置のメリットは何か。



宮田和美



野合線の現場で

建設部長

ポールは、農作業車両

等が誤って進入する可能性が高いところや駐車防止のために設置しており、歩行者を守るためのものである。よって、取り外しは考えていない。

入鹿池の安全対策は大丈夫か

部長 想定される地震に向け県が点検を計画中

宮田

五条川の源流は、入鹿池である。

過去に河川の氾濫を引き起こし、大口町にも大きな被害が出た経緯があるが、入鹿池の安全対策は大丈夫か。

建設部長

平成24年2月20日に入

鹿池耐震調査説明会が開催され、平成19年度の調査では、マグニチュード7程度の地震に対しては安全との説明を受けた。

しかし、東北地方太平洋沖地震ではマグニチュード9を記録しており、東海地方でも東海・東南海・南海連動型地震の発生が危惧されており、平成24年度から県による入鹿池の耐震点検が計画されている。

宮田

今後、入鹿池が決壊した場合の対策は、どのようなものか。

建設部長

県が平成24年度から27年度までに点検を実施する。

宮田

水害マップの作成を検討してはどうか。

建設部長

町民安全課と協力し、平成25年度に啓発活動としてマップの作成を計画している。

【その他の質問】

問 早急な橋脚の整備を

問 可燃ごみの減量対策について



酒井廣治

児童・生徒の事故状況は

部長 校内で連携し適宜報告している

酒井

校内における不慮の事故の状況について問う。

- ①平成22年度、平成23年度12月までの発生状況はどうなっているか。
- ②現在治療中の状況はどうなっているか。
- ③事故の対応状況は、どうなっているか。
- ④危機管理マニュアルは、どうなっているか。

生涯教育部長 ①と②は左表のとおり。

	①発生件数		②治療中
	平成22年度	平成23年度	
小学校	81件	60件	7件
中学校	82件	58件	6件
計	163件	118件	13件

※平成23年度は12月現在。治療中は2月現在。

③校内での事故の場合は、教諭と養護教諭が連携して対応し、校長及び教頭へ報告する一方、保護者へも経過説明している。その後、適宜、教育委員会へも報告されている。

④全校では、マニュアルを作成し、不審者侵入や火災、地震に対応する緊急連絡体制を整備している。

河村名古屋市長との首長懇談会

尾張名古屋共和国構想とは

町長 興味を持っている

酒井

河村たかし名古屋市長が地域拡大を目指す構想として「尾張名古屋共和国」を掲げて、首長懇談会を開催したが、その件について問う。

- ①首長懇談会の雰囲気や感想はどうであったか。
- ②新聞報道では、連携に温度差があったと掲載されていたが、どのようにであったか。
- ③今後の首長懇談会に期待することは何か。

副町長

①会場では、「仮称第1回尾張名古屋の行く末を考える会」という名前が掲示されていた。

町長

③今回の東日本大震災で、名古屋市は陸前高田市へ長期的に支援する取り組みがされた。小さな本町ではこうした取り組みができないが、学ぶことが多いし、興味を持っているので次回はぜひ参加したい。

会合では、河村市長からは「尾張名古屋共和国」の具体的な話はなかったが、今後会合を重ねていきたいとの話があった。

②この会合では、この地方の経済的な発展と課題解決のための連携について、概ね合意がなされたのではないかと思う。

【その他の質問】

問 中学校生徒の自転車通学について

中学校の武道必修化

指導体制は大丈夫か

教育長 教員養成期間に経験ずみ

丹羽

中学校では、平成24年4月から保健体育において武道が必修化される。

中学校においては、剣道と相撲及びダンスを選択されたが、礼節に重きを置く武道の精神を学校教育に取り入れる意義、必要性は何か。

を学ぶことで、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うもので、日本人としての自覚や心を育てるうえで重要なものである。

武道必修化で、学校の施設整備の状況はどうなっているか。

教育長

意義は、武道と重んじる日本固有の文化

生涯教育部長

剣道場、ダンスホールといった専用施設はないので、剣道とダンスは体育館、相撲は運動場で実施する。

剣道の精神を養うためには、将来、剣道場をつくる必要があると思うが、どうか。

施設整備までは必要ないと考えている。

体育の教員が指導することだが、指導体制は確保されているか。

教育長

教員養成期間に実践等を半年間または1年間経験しているの、確保されている。

丹羽

剣道の精神を養うためには、将来、剣道場をつくる必要があると思うが、どうか。

町長

施設整備までは必要ないと考えている。

丹羽

体育の教員が指導することだが、指導体制は確保されているか。

増え続ける保険給付費の抑制策は 部長 住民目線で健康づくりを進めていく



介護保険と国民健康保険の現状、健康づくりを説明（伸ばそう健康寿命！イキイキ勉強会）=1月21日健康文化センターで

丹羽

平成5年に健康のまちを宣言しているが、本町にも超高齢社会の波が押し寄せてきている。

そして、孤独死、高齢者虐待の問題も想定される中、超高齢社会に対する取り組みはどうなっているか。

健康福祉部長

平成22年度より

国保・介護・健康のデータを総合的に分析して

きた。また平成23年度には、住民に医療、介護、健康への関心を高めていただくために説明会も開催してきた。本町は2年後に、超高齢社会になることを全職員が認識し、各課が健康の視点を持って取り組むことが重要と考えている。

丹羽

増え続ける各種保険給付をどのように抑制するのか。

健康福祉部長

高齢化

ない、増え続ける医療費や介護給付費を少しでも抑制することは、住民への重要な施策であり、急務の課題である。

今の活動を新しい視点でさらに充実させ、住民と行政が同じ目線で健康づくりをともに進めていくことが、保険給付の抑制につながるかと考えている。



丹羽 勉



丹羽 孝

防災対策

洪水ハザードマップを見直し、 内水氾濫ハザードマップの作成を 部長 平成25年度に作成する

丹羽 現在、町の洪水ハザードマップは、平成15年に作成されている。国からもゲリラ豪雨等による内水氾濫のハザードマップ作成手引が出されているが、見直しはしないのか。

地域協働部長

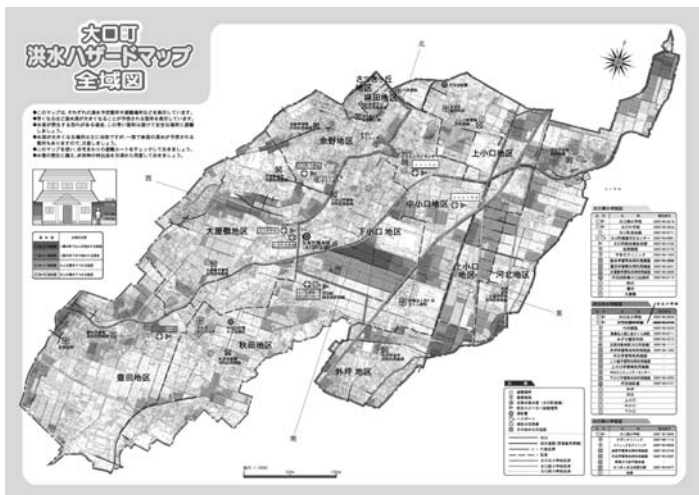
平成25年度に、

外水氾濫と内水氾濫のハザードマップを作成する。
丹羽 合瀬川の重要水防箇所や老朽化した護岸改良工事の早期着工はできないか。

建設部長

合瀬川の堤防工事は、

小牧市と犬山市から進められており、荒井堰まで計画されている。工事には、相当な時間がかかると思より聞いている。早期の完成を要望している。また、町が管理する合瀬川の八幡橋、長蔵橋については、河川改修工事に合わせ橋の架け替え工事を計画している。



現在の洪水ハザードマップ

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。内水氾濫とは、地域に降った雨が川にたどり着く前に地域であふれる状態のこと。

顕彰で人材育成活動の活性化を

部長 新しい基準を夏までに作成する

丹羽

生涯学習ボランティア人材バンクの登録者数及び活用状況はどのようになっていくか。

生涯教育部長

生涯学習ボランティア人材バンク登録者数は、83人で、そのうち町内の方が32人、町外が51人となっている。活用状況は、生涯学習課で企画実施している講座や教室のほか出前講座もお願いしている。

丹羽 広報12月号の町長マニフェスト採点簿では、地域教育において、技術者との交流は「目標達成」とあったが、どのような内容か。

丹羽

現在、町の総務部長はタイムリーに顕彰するシステムになっていない。今年、町制50周年を迎える年であり顕彰する基準や仕組みづくりを検討し、夏までにつくっていききたい。

総務部長

現在、町で顕彰するシステムになっていない。今年、町制50周年を迎える年であり顕彰する基準や仕組みづくりを検討し、夏までにつくっていききたい。

小学生の発明工夫での表彰など町のイメージをアップさせた町民などに、町として顕彰することが、人材育成活性化のカギとかがどうか。

防災対策

ガラスの飛散防止対策を

部長 今後調査し、検討する

柘植

学校、保育園に
おける防災、安

全対策として窓ガラスの

飛散防止対策が必要であ

る。新しい学校には、当

然強化ガラスが使用され

ていると思うが、現在の

状況はどうなっているの

か。

生涯教育部長

学校で
は、大

口中学校、南小学校、北

小学校の増築部分は強化

ガラスを使用している。



柘植 満



従前のガラスが使用されている西小学校

西小学校と北小学校の
一部では、従前のガラス
を使用している。

健康福祉部長

強化ガ
ラスは、

中保育園の一部にのみ使
用しているが、ほかには、

今後は、飛散防止フィ
ームを貼ることも、調査
し、検討していく。

網入りガラスを使用する
など割れにくい対策をし
ている。

学校・保育園に芝生を

部長 維持管理が大変と認識している

柘植

校庭に芝生を植
えることについ

て、文部科学省では教育

上、環境保全上の効果を

挙げて整備の推進を図っ

ている。

高コストと維持管理が

大変と言われる中、「鳥

取方式」は低コストで維

持管理も簡単である。

近隣の犬山市では、平

成23年度2保育園が芝生

化し、平成24年度も6園

が計画されている。また、

江南市や岩倉市でも検討

されている。

予算をかけずに費用対

効果が期待できる鳥取方

式の芝生を検討してはど

うか。

生涯教育部長

近隣の
小牧市

と春日井市の小学校を視

察してきたが、現場の先

生の声を聞いたところ、

芝生化については、いい

ことを言われるが、結果

的に学校の教諭の仕事に

なってしまうのが現実と

のことであった。

また、小学校に芝生が

合うかどうかを考えると、

グラウンドは体育をする

ところで、遊戯をするこ

ころではないと感じた。

健康福祉部長

近隣市
町の保

育園を調査をする中で、

江南市が2月に鳥取に視

察に行ってきたとのこと

で、その内容を伺ってき

たところである。

【その他の質問】

問 保育ヘルパー制度について

経済及び雇用対策

住宅リフォーム助成制度を創設せよ

副町長 制度の創設は考えていない



江幡満世志



リフォーム中の住宅

江幡 埼玉県比企郡鳩山町で雇用、経済対策として取り組んでいる「住宅リフォーム補助金制度」の効果についてどう考えるのか。

副町長 鳩山町の分析にもあるように施工件数や施工金額、施工業者数を見ても、他業者への波及や雇用の拡大につながっているとは言えず、経済効果が低いと考えられる。

江幡 町が認めていく基準に、何か必要か。

副町長 住民にとって公益性、公共性がひとつの判断基準となる。

江幡 江南市ではすでに岩倉市でも4月より実施される。検討してはどうか。

副町長 制度の創設は、考えていない。

	接種単価	町助成金	個人負担金	回数	町助成金支払額
ヒブ	8,852円	5,952円	2,900円	538回	3,213,776円
小児用肺炎球菌	11,267円	7,567円	3,700円	654回	4,956,051円
子宮頸がん	15,939円	10,639円	5,300円	540回	5,851,060円
				計	14,020,887円

3種ワクチン接種 任意予防接種も全額助成せよ

部長 3分の2の助成を継続する

江幡 小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの1年間の接種状況、助成金額はどうなっているか。

健康福祉部長 平成24年1月現在、平成23年度中の実績は上記のとおり。

江幡 医療給付費抑制のために任意予防接種の全額助成を要望するがどうか。

町長 任意である以上、個人の判断が前提になるので、現行どおり3分の2の助成とする。

【その他の質問】

問 国民健康保険税を値下げせよ

介護保険料の値上げをやめよ

部長 計画どおり進める

吉田 次期の介護保険料基本額は、こ

健康福祉部長 指摘ど

おり取

れまでの月額3450円から3750円になるとしている。この額は、全国平均より低いが、介護保険事業計画の試算では、介護給付費準備基金取り崩し額8500万円を1億4000万円に改めれば、値上げが食い止められると考えられるが見解を問う。

り崩せば、これまでの保険料相当額になる。しかし、推計外の事態にも対応するために、計画では3750円とした。

吉田

介護給付費準備基金は、3年間で取り崩して使うのが基本的考え方である。それをなせ5000万円だけ取っ

取っにおいて次の3年間

で使おうとするのか、その考え方が間違っている。介護保険財政が厳しくなった時に活用する県の財政調整基金もあるのに、なぜ二重に積み立てるようなことをするのか。住民の負担を減らそうと考えるべきではないか。

健康福祉部長 指摘の

だが、介護給付費1か月分を非常時に備え取っておくという考えで進めていく。

だが、介護給付費1か月分を非常時に備え取っておくという考えで進めていく。



吉田 正

二市二町新ごみ処理施設

住民参加でごみ処理を考えよ

町長 引き続きごみの減量化に努める



河北にある江南丹羽環境管理組合のごみ焼却処理施設

【その他の質問】

問 国民健康保険に傷病手当をつくれ

問 保育園をどうしようとしているのか

問 巡回バスを江南厚生病院へ走らせて

吉田

二市二町の新しいごみ処理施設は、

平成29年度中に完成できると考えているのか。

地域協働部長

当初のスケジ

ュールから遅れており、平成30年度供用開始が非常に厳しいと認識している。

町長

本町は平成17年に町民の誓いと

して平成16年ベースで3年以内に20%減量することを掲げた。それ以降、町独自に取り組み、目標半ばだが、焼却ごみの減量化に努めてきた。その点で他市町にも主張できればと考えている。

吉田

各市町の燃やすごみの量の推移

を見ると、犬山市と大口町は減少しているが、江南市と扶桑町は増えている。町長が率先し、住民参加で燃やすごみの減量化を進めるべきではないか。



前田 新生

商工会、JAと連携し特産物の開発をしては 部長 現状では人づくりの醸成段階



米粉でチヂミを作る若手農業者

前田 平成23年度に実施した「農力造進事業化研究」では、米粉を活用した研究をされたが、その成果はどうなっているか。

建設部長 住民や町内も米粉を提供し、パン・ケーキ類やみたらし団子などの和菓子、チヂミ、お好み焼きなどを試作した。その中では、小麦粉よりしっとり感があり、から揚げやてんぷらではカリッと揚がるなどの意見が寄せられた。

前田 農力造進事業化研究の過程で、特産物の開発に商工会やJAとの連携を考えてはどうか。

建設部長 特産物の開発もひとつの目標だが、若手農業者との対話や人づくりを醸成している段階である。

道路整備

生活道路にも早急な修繕を

町長 効果的な整備をしていく

前田 平成24年度に「道路修繕計画」の

策定が予算計上されているが、町道の延長距離とその内容はどうなっているか。

建設部長 平成22年度末の町道は、251.5kmである。修繕計画では、幅員の広い

主要な道路、町道の12.9%の32.3kmを予定している。

前田 計画では、幅員の狭い生活道路が対象になっていない。

道路は生活・産業の必須の基盤になってくるので、定期的な見直しや事業費が確実に確保できるように仕組みの計画にすべきと思うがどうか。

町長 計画対象の道路だけでも修繕に係る経費が多額になるが、対象道路だけでなく、生活道路も必要に応じて効果的な整備をしていきたい。



道路に複雑な勾配がある場所=大御堂地内で

【その他の質問】

問 学校施設の開放について

今こそ、もっと町内企業支援を

部長 提案は前向きに検討する

岡 町長施政方針では、町内企業への経済支援が織り込まれていた。しかしながら、これまで法人税に助けられてきた町だからこそ、現下の社会情勢においては町内企業にもっと違う切り口の支援も必要では。現状の町と町内企業との関係について、距離感を縮めたという思いが町側にはあるのか。

地域協働部長 町としては、町内企業の方々と意見交換会の場をもちたいと考えているが、なかなかできていないのが現実である。

を改めて考えてみる意向はあるか。

地域協働部長 企業が何を求めているのか把握するには、意見交換会の中から確認していけるのではないかと考えている。

岡 Win・Winな関係を構築するために、町としてできること、町にしかできないこと、町にこそやってほしいこと

岡 町と町内企業が、Win・Winな関係を構築するために、町としてできること、町にしかできないこと、町にこそやってほしいこと

岡 例えば、町ホームページのリンクを工夫したり、企業を支援するバナー表示などできないか。

地域協働部長 提案は前向きに検討する。

地域協働部長 提案は前向きに検討する。



岡 孝夫

改めて問う

定期的な住民意識調査の実施を

部長 満足度を把握する意味で必要



ごみ問題をテーマに話し合った地域懇談会=2月18日撮影

岡 住民意識調査は、第6次総合計画策定時の平成17年に実施しているが、既に6年半が経過している。社会情勢の変化に加え、過去5年間に住民も最大で約30%の人が入れ替わっている可能性がある。取り巻く環境が絶えず変化する中、定期的な住民の声を行政に反映させていく仕組みが必要ではないか。

そこで、計画策定時に住民意識調査を実施した理由を問う。

総務部長

町民の生活環境や今後のまちづくりについて意見を幅広く正確に捉え、新しい総合計画の基礎資料を作成するために実施した。

岡 第6次総合計画の達成度評価に対して、住民意識調査の実施は有用と考えるのか。

総務部長

第6次総合計画では、行政施策の普遍的な理念を表現しており、その達成度を数値で表現することは困難と考えている。

しかし、住民の暮らしや施策の満足度を定期的に把握することは必要である。

そのため、懇談会や出前講座による意見交換や現場でのアンケート調査など個別に実施している。

請

願

採択し、意見書を提出しました

◇「ご自身の健康を守り推進する基本法」
（仮称）制定を求める意見書採択の請願書【全員賛成で採択】
（提出者）

尾北精神障害者家族会しらゆりの会

会長 米本 勝

大口しらゆりの会 代表 堤 公子

（紹介議員） 木野春徳

【意見書の提出先】

衆議院議長、参議院議長、

内閣官房長官、文部科学大臣、

厚生労働大臣

不採択となりました

◇年金2・5%の削減をやめる請願書

（採択2人、不採択12人）

◇総ての高齢者に3・3万円の年金を支給する請願書

（採択2人、不採択12人）

◇年金支給年齢の引き上げをやめる請願書

（提出者）

全日本年金者組合愛知県本部大口支部

支部長 田中紀子

（紹介議員） 江幡満世志、吉田 正

議会基本条例検討特別委員会 議会改革の中間報告まとまる

議会基本条例検討特別委員会（委員長 齊木一三）は、平成22年8月18日に第1回目の委員会を開催して以来、平成22年度は3回、平成23年度は6回と計9回に及ぶ協議を重ねてきました。

特に、平成23年度の第5回以降第8回までは、議員が半数ずつに分かれて部会を組織し、検討事項すべてについて協議してきました。

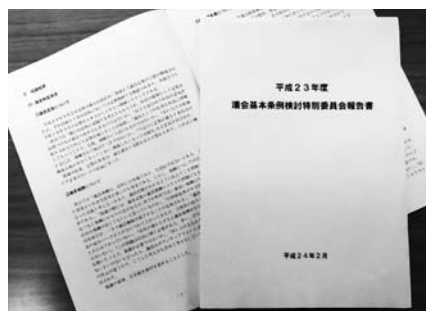
平成24年2月14日には、中間報告書のとりまとめの協議をし、3月21日の議会全員協議会で報告しました。

■議会改革検討事項

	議会制度改革部会	開かれた議会部会
趣旨	議会活動のあり方や活性化など、議会制度全般にわたり検証し、住民に信頼される議会となるよう、議会改革を検討する。	議会活動が住民にとって身近な存在になるよう、住民への情報発信方法や直接対話する機会を設けるなど、開かれた議会をめざした取り組みを検討する。
検討事項	※①議員定数について ②議員報酬について ③政務調査費について ④会議の運営について ⑤反問権について ※⑥議長交際費について ⑦議員同士の討議について ※⑧議会調査権について	①議会報告会等について ②休日議会・夜間議会について ③議会中継について ※④議会だよりについて ※⑤議会ホームページについて ⑥会議の公開について ⑦模擬議会の開催について

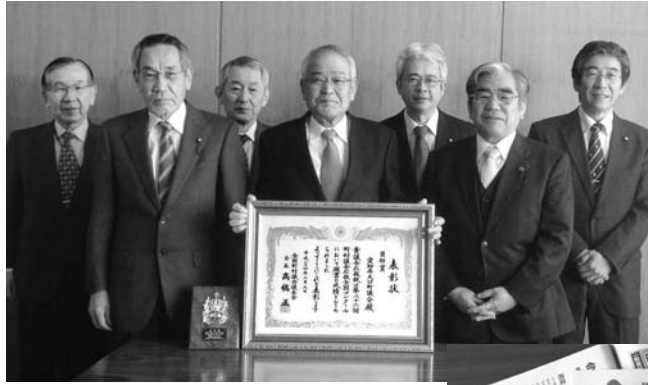
■協議結果

※印は、平成23年度で合意できた項目
上記以外は、平成24年度継続協議する項目



公表された中間報告書

議会広報全国コンクールで 奨励賞受賞



受賞した第184号 →



議会だより第184号が、第26回町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞し、2月9日の全国町村議会議長会で表彰されました。

今後も住民の皆さんにわかりやすい紙面が届けられるよう、努めていきます。

今回は、応募総数211紙の中からの受賞で、通算7回目となります。

建設中の南小学校を 建設特別委員会が視察



完成前の工事現場を視察する委員=2月23日

大口南小学校建設特別委員会の委員が、平成24年2月23日に、完成前の校舎及び屋内運動場を視察しました。

木の質感が伝わる室内には、太陽光が差し込む工夫もなされており、明るい室内になっています。



3月14日の竣工日に校舎を撮影

クイズでわかる町議会

3月定例会で話題となったキーワードです。○に適切なことばを入れてください。

- ①平成24年3月定例会は○○日間の会期でした。
- ②町提出議案は全部で○○議案でした。
- ③動議は、○件ありました。
- ④表紙の写真は、○保育園の卒園式です。
- ⑤請願の採択は、○件でした。

答えは、次のページです。

まちの 元気者

Boys be Ambitious!

4月1日、町制50周年記念イベント会場で、高校生が中心となって出展しているブースを見つけ、リーダーの鈴木耀介君にインタビューしました。その名は“もやい”。

♪ “もやい”ってどんな仲間？

町の海外派遣事業に参加した仲間の有志が集まったボランティア団体です。

♪ “もやい”という名前の由来は？

昔から結び方の一つに「もやい結び」があります。この結び方は、一度結んだら取れない、そんな思いを遠い国の友だちや地域のグループと結びつけられたら、きっといい町になるとの思いからみんなで名付けたものです。

※もやう「催合う、最合う」には、力を合わせる、助け合うという意味もあります。

♪ これまでどんなイベントに参加しているの？

町で催される れんげまつり、やろ舞い大祭、ふれあいまつりに参加しています。特に、シンガポール料理のサテーや被災地遠野市のジンギスカンの串焼き、被災地の写真集、釜石市のラスクなどよく売れました。

♪ 仲間はどれくらいいるの？

平成21年度以降に参加したメンバーを中心に30人くらいで、毎年7～8人くらい増えています。

♪ 今後の活動や夢は？

日本に在住歴の長い人を呼んで、その人から見た自分の国との日本との違いやいいところ、悪いところを外国人目線から話してもらい、国際理解の講演会を開催していきたい。そのための資金集めに、町のイベントには参加していきたいです。



リーダーの鈴木耀介君

■取材を終えて

まだ結成されて3年目のグループだが、実際に海外で学んできたことを、地域で少しでも役立てられたらという純粋な気持ちが伝わってきました。
(土田 進)

表紙の写真

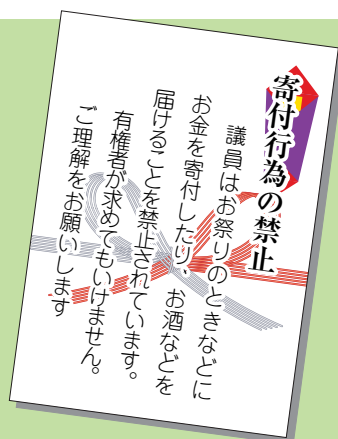
いっぱい思い出のつまった保育園とも今日でお別れです。元気な先生からはなれるのもちょっぴり寂しいそうです。4月からは、また新しい友だちをいっぱいくって、大きくな～あれ。

=3月28日北保育園卒園式で

発行責任者
議長 倉知敏美
議会広報常任委員会
委員長 酒井廣治
副委員長 宮田和孝
委員 丹羽孝正
委員 土岡進夫

前ページのクイズの答え

①20 ②30 ③2
④北 ⑤1



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/gikai/kaigiroku.html>



みなさん議会傍聴に 来てください

6月定例会予定

6月 5日(火) 提案説明
6月 8日(金) 質疑・委員会付託
6月12日(火) 総務建設常任委員会
6月13日(水) 文教福祉常任委員会
6月18日(月) 一般質問
6月19日(火) 一般質問
6月21日(木) 討論・採決

手続きは簡単です！
役場3階で住所と名前を書くだけ